

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 3 年 3 月 18 日 (2021.3.18)

【公開番号】特開 2020-53778 (P2020-53778A)  
 【公開日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-013  
 【出願番号】特願 2018-179462 (P2018-179462)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 L 12/28 (2006.01)**

**H 0 4 B 3/36 (2006.01)**

**B 6 0 R 16/023 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 L 12/28 2 0 0 Z

H 0 4 B 3/36

B 6 0 R 16/023 P

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 2 日 (2021.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

有線中継装置 2 0 の記憶部 2 0 2 は、上述の無線中継装置 1 0 の記憶部 1 0 4 と同様の構成によるものである。有線中継装置 2 0 の記憶部 2 0 2 には、無線中継装置 1 0 の記憶部 1 0 4 と同様に有線中継装置 2 0 又は E C U 3 0 と通信するための経路情報が、例えばテーブル形式にて記憶されている。当該経路情報は、無線中継装置 1 0、有線中継装置 2 0 及び有線中継装置 2 0 に接続された E C U 3 0 のアドレスが含まれている。有線中継装置 2 0 は、例えばレイヤー 2 スイッチ、又はレイヤー 3 スイッチとして機能する。有線中継装置 2 0 がレイヤー 2 スイッチとして機能する場合、無線中継装置 1 0、有線中継装置 2 0 又は E C U 3 0 の M A C アドレスが経路情報として記憶部 2 0 2 に記憶される。有線中継装置 2 0 がレイヤー 3 スイッチとして機能する場合、無線中継装置 1 0、有線中継装置 2 0 又は E C U 3 0 の I P アドレスが経路情報として記憶部 2 0 2 に記憶される。従って、記憶部 2 0 2 に記憶されている経路情報を参照することにより、有線中継装置 2 0 の制御部 2 0 1 は、自装置に接続された E C U 3 0 と車外の通信装置との間の通信、又は自装置に接続された E C U 3 0 と他の有線中継装置 2 0 に接続された E C U 3 0 との通信を中継することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 0】

なお、図 1 又は図 2 に示すごとく、最下流に接続される有線中継装置 2 0 は、上流側に位置する他の有線中継装置 2 0 と接続するための有線通信部 2 0 7 のみを有するものであってもよい。また、最下流に接続される有線中継装置 2 0 は、電源スイッチ 2 0 6 を有さないものであってもよい。最下流に接続される有線中継装置 2 0 は、例えば、自動運転系 E C U 3 0 等の車両 1 の走行安全性に関する優先度が最も高い E C U 3 0 が接続されるた

め、自装置の上流に接続される他の有線中継装置 20 との通信が遮断された場合であっても、これら優先度が最も高い ECU 30 間の通信を担保することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】

